

Gard Alert

海上安全情報をまとめた新たな総合サイト



こちらは、英文記事「[New ‘one stop shop’ for maritime security advice](#)」（2018年6月28日付）の和訳です。

国際海運業界団体は、軍事機関の支援のもと、船会社や船員向けの総合的な海上安全ガイダンスの提供に特化した新たなウェブサイトを開設しました。

新たな海上グローバル安全情報ウェブサイト www.maritimeglobalsecurity.org/ は、安全に関連するガイダンスについて海運業界がまとめた情報を集約したもので、海上安全と軍事安全保障に関する有用な情報ソースへのリンクも含まれ、海上安全情報の「総合サイト」としての役割を果たします。利用者はドロップダウンメニューから海上安全リスクの一般的な分類（海賊行為、サイバー、移住者、密航、密輸、武力衝突、戦争など）を選択するか、地域的な分類や特定航行地域を選択することにより、関連情報とガイダンスを見つけることができます。

航行リスク評価を実施して海賊行為の発見・回避・抑止・遅延につなげるための、船会社や船員向けの支援となる最新ベストプラクティス情報が、このウェブサイトの中心となっています。

- [船会社・船長・船員向けのグローバルな海賊対策ガイダンス](#)は、海賊行為や武装強盗に関するガイダンスを記載した新しい資料として世界各地の船員が活用できます。
- 定評のある BMP (Best Management Practices)は、最新バージョンの [BMP5: 紅海・アデン湾・インド洋・アラビア海での海賊行為の抑止と海上安全強化のためのベストマネジメントプラクティス](#)に更新されています。最新の BMP では、西インド洋地域の高リスク地帯（High Risk Area [HRA]）固有の脅威に関するガイダンスの提供を継続しつつ、グローバルな海賊対策ガイダンス文書とも連携したものとなっています。
- [ギニア湾地域において海賊行為と武装強盗から船舶を保護するための、船主・運航者・船長向けのガイダンス](#)の第3版も利用可能となっています。

- 東南アジアを航行する船舶向けには、ReCAAP が発行している既存の [アジアでの海賊行為と武装強盗から船舶を保護するための地域ガイド](#)が紹介されています。

2018年6月28日付のプレスリリースで、同ウェブサイトの執筆者は次のように述べています。「安全リスクがさらに複雑化している世界情勢の中で、船員と船舶の保護は必要不可欠です。この新たなウェブサイトは、無料で利用可能な情報源として、安全リスクの伴う地域を航行するにあたって船会社と船員の皆様が総合的な事前準備を行えるよう、支援となる重要なガイダンス情報を提供しています」

海運業界のベストプラクティスに従わないと結果的に重大な影響が生じる可能性があるため、メンバーの皆様には、この新たなウェブサイトを積極的に推進・活用し、関連のあるガイダンス文書はご自身でも精読しておくことを推奨いたします。Gard のウェブサイトの [Trading area risks](#) でも詳しい情報をご覧ください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。